

## グアテマラ内政・外交（2010年11月）

平成22年12月  
在グアテマラ日本国大使館

### 1. 概要

内政面では、17日、コロン大統領は来年の選挙で選挙活動を行う予定であることなどを理由として、外務次官を含む政府関係者及び県知事の交代を発表した。27日、国会で次期執行部が選出され(任期は1年、2011年1月14日就任予定)、アレホス現国会議長が再々任された。

外交面では、当国外務省が北朝鮮による韓国の延坪島への砲撃に対する懸念を表明するコミュニケを発出した(23日)ほか、ブラウン英外務閣外相が当国を訪問した(26日)。

### 2. 内政

#### (1)コロン大統領の死刑関連法案への拒否権行使

4日、コロン大統領は、大統領の死刑への恩赦の権利を復活させる死刑関連法案(10月5日国会承認)に対し拒否権を行使すると共に、国会に対し、死刑の適用が治安面での解決につながっているとは思われないため、死刑の廃止要請する旨表明した。同法案を提出したバルデソン議員(自由民主会派(LIDER))は、コロン大統領はローゼンバーク弁護士殺害事件発生の際に窮地に陥った際借りを作った国際社会に対しお返しをするため拒否権を行使したに過ぎない旨批判した。

#### (2)UNEとGANAの選挙同盟

7日、与党国民希望党(UNE)と野党国民大連合(GANA)は、明年の総選挙へ向けて選挙協力を行う旨発表した。ファハルドUNE幹事長は、前政権下(2004-2008年)で政権与党を務めたGANAと選挙協力を組むことにより、与党UNEが引き続き政権に留まることを目的としている旨コメントした。

#### (3)S&Pによる当国の評価

4日に信用格付け会社のS&Pが発表した報告書において、当国政府が財政赤字を膨らませ、政治的対立を再燃させた場合には、信用格付けを低下させる旨指摘した。同報告書では、政治面での透明性を改善させ、政治的団結を強め、徴税率の改善による債務の軽減を行えば、格付けが上昇する可能性があると考えた。S&P社は、グアテマラのリスクとして、2011年の選挙、具体的には、国会において政府の懸案事項を成立させるための政党間の争いが激化する可能性を指摘し、これに、国内経済回復の遅れや、犯罪組織や麻薬取引関係グループの増加などの要素も影響を与えるとした。

#### (4)UNDPの人間開発指数及び人間開発報告書発表

ア 4日、当地国連開発計画(UNDP)事務所は、2010年の人間開発指数を発表し、経済格差が当国の発展を妨げている等指摘した。当地UNDP事務所によると、本年の当国人間開発指数は0.56(前年0.70)で169カ国中116位(前年同116位)となった。アリオラUNDP当地事務所コンサルタントは、「過去30年において

当国の人間開発指数は進歩を見せているものの、現状のスペースで進歩すると仮定した場合、当国が現在のラテンアメリカ諸国の同指数平均値に達するには今後65年の年月を要する。」旨述べた。ミチョン当地UNDP駐在代表は、「当国及びラテンアメリカ全体における問題は貧困や極貧にあるのではなく、社会経済格差にある。」旨述べた。

イ 16日、「2009／2010年グアテマラ版人間開発報告書」が発表された。今次報告書では政府の行政能力に焦点が当てられ、特に農村・先住民族居住地域における開発の遅れ、低い徴税率に起因する脆い財政基盤、深刻な治安状況が指摘されるなど、不透明で非効率的な「弱い国家」であることが浮き彫りとなった。

#### (5) 政府関係者及び県知事の交代

17日、コロン大統領は来年の選挙で選挙活動を行う予定であることなどを理由として、外務次官を含む政府関係者及び県知事の交代を発表しそれぞれ後任者の任命を行った。コロン大統領は、「与党関係者で次回選挙の選挙活動に加わることを決断した者がいるため、大統領の立場から行政に選挙を持ち込まないことを明確に示すため(今回の人事を)決定した。」旨述べた。今回辞任したのは、ランセリオ文化大臣、イバラ外務次官、ムラジェス労働社会保障次官、ロブレス・グアテマラ観光庁(INGUAT)長官のほか、バハ・ベラパス県、チキムラ県、エスクイントラ県、グアテマラ県、ハラパ県、レタウレウ県の計6県の知事。また、ブランコ大統領府和平庁(SEAPAZ)長官についても辞任を予定(11月30日付)している旨発表された。

#### (6) 国会次期執行部の選出

27日、国会は次期執行部を選出し(任期は1年、2011年1月14日就任予定)、アレホス現議長が再び議長に選出された。次期執行部の構成は、議長がロベルト・アレホス議員(国民希望党(UNE)、再々任)、第一副議長がガブリエル・エレラ議員(国民大連合(GANA))、第二副議長がイバン・アレバロ議員(グアテマラ共和戦線(FRG))、第三副議長がカルロス・フィオン議員(グアテマラ会派(BG))等となった。

### 3. 治安情勢関連等

#### 世界の都市別殺人発生件数の発表

2日付プレンス・リブレ紙は、メキシコの民間機関「治安及び刑事裁判のための市民審議会」の調査による10万人当たり殺人発生件数の都市別世界ランキングについて報じ、グアテマラ市(殺人発生件数86人/10万人)は同第5位を占め第4位のカラカス(同94人/10万人)に迫る勢いであるとした。なお同ランキングにおいて、1位はメキシコのシウダー・フアレス(同191人/10万人)、2位はホンジュラスのサン・ペドロ・スーラ(同119人/10万人)、3位はエルサルバドルのサン・サルバドル(95人/10万人)の各都市が占めた。

### 4. 外交

#### (1) 墨タマウリパス州虐殺被害者遺体の移送

5日、グアテマラ市内のグアテマラ空軍基地に、メキシコのタマウリパスでの大量虐殺(本年8月発生)で犠牲となったグアテマラ人8名の遺体が搬送され、遺族に引き渡された。イバラ外務次官は、メキシコ当局が更に

6人のグアテマラ人の遺体の身元を確認する可能性がある旨発言した。

#### (2) 北朝鮮による韓国への砲撃に対する非難

23日、当国外務省は北朝鮮による韓国の延坪島への砲撃に対する懸念を表明するコミュニケを発出した、「グアテマラ政府は、韓国軍海兵隊兵士2名の死亡並びに複数の負傷者が生じた、北朝鮮による韓国との海上の境界である北方限界線(NLL)に近い黄海上の延坪島付近での本日の砲撃について、朝鮮半島の平和と安定に反動を生じさせるものとして深い懸念の意を表明する。」、「グアテマラ政府は韓国に対し、このように遺憾な事件における連帯の意を表明すると共に、同国民の死亡に心からの弔意を表す。同時に両国に対し、地域における対話と平和、安定を弱体化させる行動を回避するよう呼びかける。」等表明した。

#### (3) ブラウン英外務閣外相の訪問

26日、ブラウン外務閣外相が当国を訪問し、ロダス当国外相等との二国間協議、英自動車の貿易促進イベントへの出席及びドメスティック・バイオレンス対策に携わる若者との面会を行った。